

新型コロナウイルス感染症対策事業

総事業費 約 92 億円

(主な事業)

特別定額給付金支給事業	69 億 8460 万円
そうじゃ復活券事業	7 億 6223 万円
感染症対策事業	4 億 7212 万円
水道無料化事業	3 億 7321 万円
GIGA スクール端末整備事業 ①	2 億 9290 万円
お持ち帰り DE お得券事業	1 億 1496 万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	925 万円



① 令和 2 年 12 月、端末や通信ネットワーク環境整備を目指す GIGA スクール構想の実現に向け、市内小中学校に 1 人 1 台の端末を整備



② 昭和地区美袋で令和 2 年 5 月から整備が進められた復興住宅。令和 3 年 7 月までに全 13 棟が完成した



③ 令和 2 年 10 月に導入された最新のはしご付消防自動車。はしごの先端屈折や自動収納、揺れを制御する装置などを備えている



④ 令和 2 年 11 月に開園した雪舟生誕地公園。雪舟像や国宝指定作品 6 点の陶板画などが設置されている

西日本豪雨災害復旧・復興事業

復旧・復興経費 約 7 億円

(主な事業)

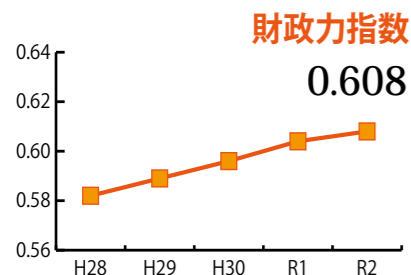
排水対策事業	3 億 9844 万円
復興住宅整備事業 ②	7395 万円
避難路整備事業 (下原地区)	5596 万円
災害廃棄物の処理・被災家屋解体等経費	5536 万円

その他の主な事業

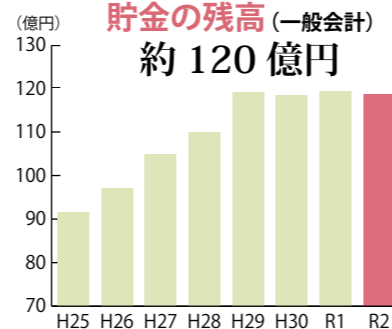
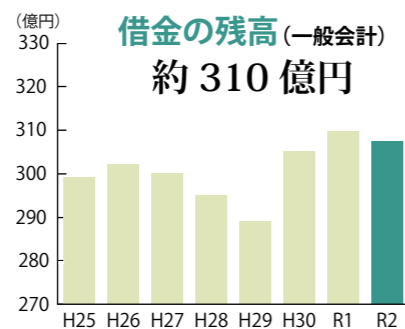
はしご付消防自動車購入経費 ③	2 億 4970 万円
雪舟生誕地公園整備事業 ④	2 億 2492 万円
総社市新生活交通事業	8146 万円
障がい者千五百人雇用事業	2027 万円
新庁舎建設事業	1368 万円
児童虐待防止事業	400 万円

財政状況

令和 2 年度は黒字決算で財政調整基金の取り崩しがなく、貯金残高はほぼ横ばいを維持しています。借金残高は微減したものの、令和 4 年度から本格化する新庁舎建設などの大型事業実施により、今後は増加が見込まれるため、事業の取捨選択をして起債(借金)抑制に努める必要があります。



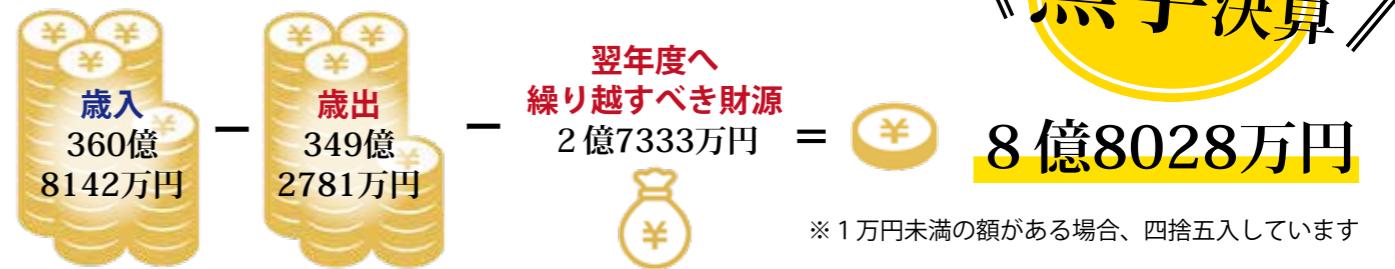
財政力指数は地方公共団体の財政上の豊かさを示す数値。1 に近い、または 1 を超えるほど財源に余裕があるとされる



コロナ禍を市民一丸となって乗り越える

令和 2 年度 決算報告

問い合わせ 財政課 (☎ 8228)



※ 1 万円未満の額がある場合、四捨五入しています

令和 2 年度の一般会計と 4 つの特別会計、3 つの公営企業会計の決算がまとまり、いずれも黒字決算となりました。

福祉や教育、土木、消防など、行政運営の基本的な経費を計上している一般会計では、歳入は 360 億 8142 万円、歳出は 349 億 2781 万円。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、1 人 10 万円を給付する特別定額給付金支給事業などの経済対策が実施されたことにより、過去最大の決算額となりました。歳入から歳出を引いた額は 11 億 5361 万円。ここから翌年度に繰り越された一部の事業に要する財源 2 億 7333 万円を差し引いた 8 億 8028 万円が実質の黒字額です。

令和 2 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市独自のさまざまな対策を進めてきました。経済対策として、令和 2 年 4 月から 7 月まで水道料金を無料化したほか、市内登録店

で使えるプレミアム付商品券の販売などを実施。新型コロナウイルスワクチンの接種開始に向けては、コーレンターの設置や接種券の発送準備を行いました。

そのほか復興住宅の建設など、前年度に引き続き西日本豪雨からの復旧・復興事業にも取り組みました。

新型コロナウイルスの影響で市税収入額は減少したものの、感染症対策に伴う国庫支出金や地方消費税交付金などは増額。この結果、市の貯金である財政調整基金を取り崩すことなく、黒字決算とすることができました。

今後、歳入面では新型コロナウイルス感染症の影響を受けて税収減などが予測されます。歳出面では、社会保障関連経費や公共施設などの維持補修費の増大に加えて、市役所新庁舎建設など大型事業の実施に伴う経費が見込まれます。引き続き事業の見直しや歳入確保に取り組み、健全財政の推進に努めます。